

2022 年度

公立西知多看護専門学校

自己点検・自己評価報告書

2023 年 12 月 1 日

はじめに

学校自己点検・自己評価を開始して6年目となりました。2022年度の学校自己点検・自己評価を実施し、まとめることができました。

本評価の対象となる2022年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、様々な規制が少しずつ緩和された年でした。With コロナへと移行する中で、感染予防策をとりながら行事や自治会活動の実施など、学生生活が充実するよう心がけた1年でした。

そして、新しいカリキュラムの運用が始まった年度でもありました。今回のカリキュラム改正のポイントは、コミュニケーション能力の強化、地域包括ケアの拡充に伴い地域に暮らす人々の理解とそこで行われる看護について教育内容の強化でした。本校におきましても「暮らしの理解」という科目を設定し、地域住民と出会い、日々の暮らしについてお話を聞き、「地域の人々の暮らし」について理解を深めることができました。

長い日々をかけ教員一丸となって検討してきた新しいカリキュラムです。実際に運用を始めてみると、改善が必要な点も出てきました。教員たち一人ひとりが新カリキュラムを大切に、学生たちがよりよい学びができるよう改善に向けて努力している姿を見て心強く感じた1年でした。

そしてこの2022年度の自己点検・自己評価は、私が校長となり、初年度の評価を意味します。2021年度の評価を基に改善に取り組んできましたが、教職員一同で評価結果を話し合うことができなかつたことが反省点でした。そのため本評価において、教員間で評価項目のとらえ方の共通理解が不足していたために、評価に差が出てしまったものもありました。現在は、2022年度の自己点検・自己評価を基に、教職員で評価項目の共通理解をしつつ、改善点について話し合い、できることから改善に努めているところです。

本報告書をまとめるにあたり、ご講評いただきました公立西知多総合病院副院長兼看護局長 宮原晴子様、資生会八事病院看護部長 津田末子様には厚く御礼申し上げます。いただいた助言を参考に教育活動をさらに改善していくとともに、今後も教育の質の向上に向け、継続的に学校評価を実施し、看護教育の一層の充実に努めてまいります。

令和5年11月

公立西知多看護専門学校
校長 鰐部貴久美

目 次

I	教育理念・教育目的・教育目標	1
1	設置目的	1
2	教育理念.....	1
3	教育目的・教育目標.....	1
II	学校運営	2
1	運営方針及び事業計画	2
2	運営組織及び意思決定機能.....	3
3	人事・給与システム.....	3
4	学校内組織図.....	3
5	コンプライアンス体制並びに情報公開	4
6	情報システム化	4
III	教育活動	4
1	目標の設定等.....	4
2	教育方法・評価等	5
3	資格試験.....	8
4	教職員	8
IV	学修成果	10
V	学生支援	12
VI	教育環境	13
VII	学生の受入れ募集.....	14
VIII	財務.....	16
IX	法令等の遵守.....	16
X	社会貢献・地域貢献	17
	資料 1	18
	講評	
	評価者 宮原晴子	35
	評価者 津田末子	37

※評価結果点数は、4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切で教員が評価した結果の平均値を示している。(2017年度評価者：10名、2018年度評価者：9名、2019年度評価者：9名、2020年度評価者：11名、2021年度評価者：12名、2022年度評価者：12名)

【I 教育理念・教育目的・教育目標】

1. 設置目的

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1. 設置目的が明記されている。	3.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9
2. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか。	3.2	3.6	3.1	3.1	3.1	3.3

1については「沿革」および「本校の使命」に設置目的が明記され、西知多医療圏の地域貢献という意図も読み取れるため、高評価となっている。

2については、前年度より評価は上昇している。学校の将来構想については、設置目的を踏まえて2022年度から運用が開始された新カリキュラムにおいて、西知多医療圏の地域に住む人々と接し、暮らしを理解する科目等が設定されていることから評価が上昇したと考える。

2. 教育理念

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
3. 教育理念が明記されている。	3.8	3.8	3.9	4.0	3.9	3.9
4. 教育理念が学生・保護者等に周知されているか。	2.9	2.9	3.0	2.8	2.9	3.3

3については、2022年度からのカリキュラム改正に伴い、教育理念を端的な表現へ変更した。教育理念は、ホームページ、学校案内リーフレット、学習要項、実習要項、学生便覧に掲載しているため、高評価となっている。

4については、新カリキュラムから端的な表現となり、新学期オリエンテーション時および入学時に保護者に説明する機会を設けた。また教員の初回講義時には、教育理念とその科目のつながりを説明するなど、折に触れて「気づき、考え、協働する看護師になってほしい」と伝えており、評価は上昇した。

3. 教育目的・教育目標

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
5. 教育目的・教育目標により、育成人材像が明示されている。	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	3.8
6. 教育目的・教育目標は学生・保護者等に周知されているか。	2.9	3.0	2.9	3.1	2.8	2.9
7. 教育目標・期待される卒業生像(DP)は、業界のニーズに向けて方向付けられているか。	3.7	3.6	3.7	3.7	3.5	3.8

5については、前年度より評価は若干低下したが、高評価となった。2022年度からは、教育目的とディプロマポリシーおよびコンピテンシーとその科目との関連を学習要項に明示した。

6については、学校案内やホームページに明示し、学生に新学期オリエンテーションで教育目的、ディプロマポリシーおよびコンピテンシーの説明をしている。また、教育理念と同様に初回講義にディプロマポリシーとの関連について説明をしていることを評価する意見が複数あった。しかし教室に掲示がないこと、保護者への説明や周知がいつされているか不明であることを理由に低評価としたという意見があった。今後は周知方法について、検討を要すると考える。

7については、業界のニーズを含めて検討し、ディプロマポリシーとして表現したため評価は上昇した。

【Ⅱ 学校運営】

1. 運営方針および事業計画

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
8. 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3.6	3.7	3.7	3.8	3.8	3.5
9. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.4

8については、組合の予算編成や目標管理の時期に運営方針や事業計画を検討し、年度初めに「事業概要及び組織目標」として教職員へ提示しているが、「どこに記載されているかわからない」という理由で低評価としていたことが、評価が下がった要因と考える。

9についても同様にどこに記載されているかわからないという意見が見られた。教員間での共通認識および意識付けができていなかったことが要因と考える。

2022年度事業概要および組織目標は以下のものであった。

公立西知多総合病院で働く看護師として活躍できる人材を育てる。

- 優秀な入学生の確保を図る
 - 1) 受験者数の維持・増加
 - 2) 入学試験実施方法の改善
- 新カリキュラム実施に伴い、教育体制及び教育教材の更なる充実を図る
 - 1) 新カリキュラム実施への対応と課題の掌握
 - 2) 学習環境（設備・備品・使用器材等）の整備と教務事務の導入
- 公立西知多総合病院への就職希望者を一人でも増やし、国家試験・採用試験全員合格を目指す
 - 1) 病院・病棟との連携による講義および実習の充実
 - 2) 修学金貸与者の確保・維持
 - 3) 書く力・伝える力の強化
 - 4) 1年生からの国家試験対策

2. 運営組織および意思決定機能

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
10. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか。	3.5	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8

組合立の学校として運営組織や意思決定機能について明文化しているため、前年度と比較し、評価に変わりはない。

3. 人事・給与システム

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
11. 人事、給与に関する規定等は整備されているか。	3.2	3.0	3.8	3.6	3.8	3.6

人事・給与に関しては、西知多医療厚生組合例規集に規定されていることに変わりはないが、若干評価が下がった。低評価とした理由として、給与に関する条例が例規集に明記されていると知ってはいるが、見せてもらっていないという意見があった。西知多医療厚生組合例規集について周知する必要があると考える。

4. 学校内組織図

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
12. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3.3	3.4	3.9	3.8	3.4	3.3

組織整備として、当校の教務課の組織図は、校長、副校長、教務課長、教務主任の配置となっているが、2022年度の人事異動や退職に伴い、校長兼教務課長、教務主任の2名の配置となり、業務の負担が過剰となっているという意見があり、若干評価が下がった。また、管理会議、職員会議で教務課、庶務課の連携、教員会議、チーム会議等で教務課内の連携、意思決定を実施している。前年度、課題となっていた庶務課と教務課の連携については、チーム会に庶務課も参加して情報共有がしやすくなったこと、話し合いながら意思決定ができていくことなどを理由に高評価としていた。その反面で、チーム会で話し合ったことの教職員全体への周知不足やコミュニケーションエラーがあったことを理由に低評価としたという意見もあった。業務内容の更なる明確化と、チーム会で決定したことを教職員全員へ周知していく必要がある。また、財政5か年計画を教員に説明する機会を設け、意思決定に関わることができるようにしていく必要があると考える。

5. コンプライアンス体制並びに情報公開

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
13. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3.1	3.1	3.0	3.6	3.6	3.6
14. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3.1	3.1	3.1	3.5	3.5	3.4

13については、前年度と比較し評価に変化はない。学校運営に関することは、西知多医療厚生組合および愛知県の指導調査があることや実習変更時等の場合には、愛知県医務課に相談、確認していることによりコンプライアンス体制は整っているという意見があった。また、倫理的な面を含めた組織としてのコンプライアンスは向上していると感じるという意見もあった。

また、14の項目については、Instagramを開始したことを評価する一方で、より情報の扱いを慎重にしていく必要性やホームページ自体が古く感じるということもあり、若干評価は下がった。ホームページを見やすくすること、引き続き情報の取り扱いについて注意しながら、Instagramやホームページで日々の教育活動を公開するなど、広報活動を継続していく必要がある。

6. 情報システム化

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
15. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	2.6	2.7	2.4	3.2	3.2	3.3

授業や様々なアンケートなどICTを活用して業務の効率化が図られたこと、徐々にデータファイルの整理が出来てきたことにより、多少評価が上がった。ICTの活用状況は教員により個人差があるため、今後もICTを活用した授業等を行っていけるよう教員間でのスキルアップを図る必要がある。また教務事務を導入し、教育に関するデータの整理を依頼することで、業務の効率化が図れるようになった。引き続き庶務課と連携して、書類のファイリングとデータファイルを一致させ、誰もがわかるように整備するなど、データファイルの管理や業務の効率化を目指す必要があると考える。

【Ⅲ 教育活動】

1. 目標の設定等

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
16. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3.8	3.8	3.9	3.5	3.5	3.6
17. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.5	3.6	3.7	3.3	3.5	3.7

16については、若干評価は上昇した。本年度から運用が始まった新カリキュラムは、教育理念から見直し、それに基づいた教育課程を編成したため高評価となっている。しかし現在は移行時期であり、今後

は運用したカリキュラムを評価・修正をしていく必要があるという意見もあった。

17については、前年度より若干上昇した。指定規則および指導ガイドラインに沿って、実習要項、学習要項を毎年見直し、検討できていることが理由に挙げられていた。また、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、評価基準に到達できるよう授業・実習内容を変更し、実施することができたという意見もあった。しかし、業界のニーズが把握できていないこと、多くの学生が就職する母体病院のニーズを把握して教育内容を検討する必要があるという意見も見られた。教育到達レベルについては、臨床現場で必要とされる実践能力と看護基礎教育との乖離をなくすために、今後は母体病院との連携を密にして、看護技術教育プログラムについて検討していくことが必要であると考えられる。

2. 教育方法・評価等

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
18. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3.1	3.1	2.9	3.3	3.3	3.3
19. 関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	3.1	3.1	3.2	3.0	3.3	3.3
20. 授業評価の実施・評価体制はあるか。	2.4	1.9	2.4	2.5	2.7	2.9
21. 関連分野における実践的な職業教育（実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	3.3	3.2	3.3	3.3	3.4	3.4
22. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	2.0	2.5	3.0	3.2	3.3	3.3
23. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3.4	3.6	3.6	3.9	3.5	3.7

18については、前年度に比べ変化はない。新カリキュラムを運用する中で、地域の人々の生活を知るために地域の人たちへのインタビューや老人体験をしながらのフィールドワークを取り入れた取り組みが高評価されていた。

19についても評価に変化はないが、新カリキュラムの運用が始まり、実習施設と連携をしてカリキュラムの見直しや改善の必要性を感じている教員が複数いた。今後計画的に見直しを進め、改善に努めていきたい。

20については、評価は少しずつ上昇している。また、在学生・卒業生を対象としたアンケート調査（資料1-4）においても授業の評価は上がってきている。前年度に引き続き、授業研究を行った教員がいたこと、学内教員がグループワークや演習を多く取り入れながら、学生たちの興味を引き出せるよう工夫をしていることなどが反映されたと考える。現状では、個々の教員が授業ごとにアンケートを実施して理解度や疑問点の確認をして授業の改善に努めていること、授業資料や学生が書いたレポート等を教員間で回覧していることもある。しかしながら授業研究の実施が少ないことや他者評価にまで至っていないことを課題と捉える意見も見られた。今後は、授業研究の実施、学生のアンケート結果や学びをまとめたレ

ポートを教員間で共有して授業評価をしていく必要があると考える。

カリキュラム評価のひとつである学生の学習成果として、再試験の状況を表1に示す。2020年度以降の推移をみると、科目数の多い1・2年次の再試験受験率は減少してきている。試験の合格には学生個人の学習意欲や試験問題の難易度等も影響しており判断は難しいが、今後も推移を把握していく。

また、現行カリキュラムの柱である社会人基礎力に関しては、2022年度に卒業した9回生の評価は、例年通り入学当初と比較して卒業時の自己評価は上がるという結果が得られた(表2-1)。しかしながら前年度同様、評価の伸びが低い結果となった。要因としては、入学時から新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンラインでのグループワークや臨地実習が学内演習に変更となることが多かったことなど、社会人基礎力を育む機会が減少したことが影響していると考えられる。項目別において卒業時に上昇がみられたもの(表2-2)については、臨地実習の場での経験、学生主体となって「感染対策をしながらも楽しめる方法」を工夫して開催した自治会行事やオープンキャンパス、医療に携わる者として日常生活において感染予防のためのルールを守ることを経験したことも、社会人基礎力を育む機会となったと考える。様々な場面において社会人基礎力を育てていけると感じたため、今後も意識した関わりをしていく必要があると考える。

表1 再試験状況

		7回生	8回生	9回生	10回生	11回生
2020年度	学年	3年次	2年次	1年次		
	再試験科目数	2	20	17		
	総試験科目数	7	34	39		
	再試験実施率*	28.6	58.8	43.6		
	再試験延べ受験者数	2	65	116		
	再試験受験率**	1.0	6.4	10.3		
	再試験不合格者総数	0	9	7		
2021年度	学年		3年次	2年次	1年次	
	再試験科目数		4	14	14	
	総試験科目数		7	33	39	
	再試験実施率*		57.1	42.4	35.9	
	再試験延べ受験者数		12	45	51	
	再試験受験率**		6.0	5.9	4.4	
	再試験不合格者総数		1	3	27	
2022年度	学年			3年次	2年次	1年次
	再試験科目数			2	7	13
	総試験科目数			7	33	46
	再試験実施率*			28.6	21.2	28.3
	再試験延べ受験者数			13	15	35
	再試験受験率**			6.6	1.5	2.7
	再試験不合格者総数			0	1	2

*: (再試験科目数/総試験科目数) × 100

** : (再試験延べ受験者数/延べ受験者数) × 100

表 2-1 社会人基礎力評価結果（5段階評価で13項目の合計65点が満点）

		4回生	5回生	6回生	7回生	8回生	9回生	10回生	11回生
2015年度	年度始	40.1							
	年度末	43.8							
2016年度	年度始	43.7	39.7						
	年度末	36.6	41.0						
2017年度	年度始	37.0	41.3	37.1					
	年度末	39.9	40.9	40.3					
2018年度	年度始		40.3	40.3	46.1				
	年度末		46.8	41.6	44.8				
2019年度	年度始			41.6	44.8	43.3			
	年度末			46.1	43.3	41.1			
2020年度	年度始				43.3	41.1	43.9		
	年度末				49.1	44.3	41.9		
2021年度	年度始					44.8	40.5	44.6	
	年度末					45.0	41.2	44.4	
2022年度	年度始						43.7	43.8	46.2
	年度末						46.5	45.3	43.6
卒業時－入学時		-0.2	7.1	9.0	3.0	1.7	2.6		

表 2-2 社会人基礎力評価結果（2022年度 卒業生の入学時との評価の比較）

評価項目	前に踏み出す力			チームで働く力			考え抜く力						倫理性	合計
	主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力		
入学時	3.5	3.1	3.4	3.5	3.2	2.9	3.3	3.8	3.6	3.1	3.6	3.3	3.4	43.9
卒業時	3.6	3.3	3.5	3.4	3.2	3.2	3.3	4.2	3.8	3.6	3.9	3.6	3.8	46.5
差*	0.1	0.2	0.1	-0.1	0.1	0.3	0.0	0.4	0.2	0.5	0.3	0.3	0.4	2.6

*：卒業時の自己評価－入学時の自己評価

21については、評価に変化はなかった。技術教育は体系的に位置づけられているが、前年度同様、臨地実習において新型コロナウイルス感染症による制限のため、経験する機会が減少したことを問題とし、それに代わる学内実習の充実と併せて技術経験を増やしていくことが課題として挙げられた。また、新カリキュラムにおいて認定看護師による実技演習科目が加わったことを高評価とした意見もみられた。

22についても状況としての変化はなく評価は横ばいとなった。外部講師や認定看護師による講義時の評価、臨地実習において指導者による評価を根拠として多く挙げられていた。

23については、評価は前年度より上昇した結果となった。2022年度の新カリキュラムにおける実習評価から、ルーブリック評価を導入している。2022年度は、基礎看護学実習においてルーブリック評価を運用したことで、今まであいまいさを感じていた評価が明確化されたと教員たちが認識した結果と考える。そして、さらなる明確化に向けて運用後も見直しを始めており、今後新たに運用を始める領域実習のルーブリック評価についても見直しをしながら評価の精度を高めていきたい。

3. 資格試験

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
24. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.6	3.3	3.6	3.6	3.9	3.8

24については、評価は前年度より若干下がったが、高評価となった。看護師資格取得に向けて、1年生からの国家試験対策、文章読解・作成能力検定への取り組みを評価の根拠としている教員がいた。看護師国家試験が3年間連続して全員合格となったことは、この評価に値すると考える（表3）。

表3 国家試験結果及び就職・進学状況

	卒業 者数	国家試験 合格者数	就職 希望者数	母体病院 採用試験 受験者数	就職先(各就職者数/卒業者数)			進学者数 (進学者数/ 卒業者数)
					母体病院	実習等 関連施設	その他病院	
2014年度(1回生)	28	28(100%)	25(89.3%)	20(71.4%)	20(71.4%)	3(10.7%)	2(7.1%)	1(3.6%)
2015年度(2回生)	26	24(92.3%)	24(92.3%)	18(69.2%)	16(61.5%)	3(11.5%)	5(19.2%)	0
2016年度(3回生)	29	29(100%)	29(100%)	22(75.9%)	22(75.9%)	4(13.8%)	3(10.3%)	0
2017年度(4回生)	27	25(92.6%)	27(100%)	18(66.7%)	13(48.1%)	8(29.6%)	6(22.2%)	0
2018年度(5回生)	32(1)	29(93.5%)	29(100%)	27(93.1%)	21(65.6%)	5(15.6%)	3(9.4%)	0
2019年度(6回生)	26	25(96.2%)	23(88.5%)	17(65.4%)	15(57.7%)	2(7.7%)	5(19.2%)	3(11.5%)
2020年度(7回生)	27	27(100%)	27(100%)	24(88.9%)	21(77.8%)	3(11.1%)	3(11.1%)	0
2021年度(8回生)	26	26(100%)	25(96.2%)	22(88%)	22(84.6%)	2(7.7%)	1(3.8%)	1(3.8%)
2022年度(9回生)	28	28(100%)	26(96.6%)	25(89.3%)	22(78.7%)	1(3.5%)	3(10.7%)	2(7.1%)

※卒業者数の（ ）内数字は3月末までに卒業した者で国家試験未受験者数

4. 教職員

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
25. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか。	3.0	2.9	3.0	3.3	3.3	3.7
26. 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。	2.8	3.1	3.4	3.5	3.6	3.5

27. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	2.9	2.8	3.2	3.4	3.3	3.2
28. 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	2.2	2.7	2.8	3.5	3.5	3.4

25については、年々評価が上がってきている。2022年度は、前年度末に校長職の人事異動および副校長の退職があり、新しく2名の教員を迎えた。校長以外に教務課教員12名（その他、会計年度任用職員の実習指導教員3名）、庶務課2名（その他会計年度任用職員2名）の新体制で学校を運営した。また前年度に続き、任期付短時間正規雇用の職員1名を雇用し、教育の質を維持できるよう人員を確保している（表4）。臨床経験が豊富で、それぞれ得意分野のある教員が多いことが高評価の理由として挙げられていた。しかしながら前年度同様、実習指導教員の不足が課題として挙げられ、引き続き実習の指導体制の検討や人材確保に努める必要がある。

表4 教職員数の状況

		2017	2018	2019	2020	2021	2022
教員	常勤	12 <small>(内1名育休)</small>	11	10	11	12	12
	任期付短時間正規雇用	0	0	1	1	1	1
	再任用	0	0	1	0	0	0
	実習指導教員	5	5~6	3~4	1~3	2~3	3
庶務課	常勤	2	2	2	2	2	2
	会計年度任用職員	1	1	1	2	2	2

26の評価は前年度より若干下がった。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で看護職員の人員不足により、実習指導者が不在となることがあったことを理由に挙げられていた。一方で、母体病院を中心にそれぞれに適した講師に講義の依頼をしていることを高評価とする意見もあった。

27、28についてはともに前年度より若干評価が下がった。前年度同様、教員歴が長くなることで看護師としての実践に不安を感じるという意見があった。また、研修に参加しているものの職務で活かしきれていないと感じること、指導力育成のための取り組みとして具体的になされていないと判断したことを課題とする意見もあった。研修後は、復命書や研修資料を回覧して、できるだけ学びを共有できるようにしているが、内容によっては伝達講習の機会を設けるなど研修を活かす方法を検討する必要がある。また新カリキュラムにより新しく実習する施設においては、学習内容の再確認が必要であると考えている。2023年度は母体病院や実習施設の協力を得て、教員の指導力育成や資質向上および実習における学習内容の再確認に向け、臨地での教員研修を計画していく予定である。（研修参加状況は表5参照）

表5 研修参加状況

	出張扱い				自己啓発
	学会参加	自治体主催研修	教員養成	その他研修	
2014年度	2件(2名)	2件(2名)	0件	6件(6名)	5件(8名)
2015年度	2件(2名)	2件(2名)	1件(1名)	4件(4名)	6件(10名)
2016年度	3件(3名)	2件(2名)	0件	1件(1名)	3件(4名)
2017年度	1件(1名)	3件(3名)	1件(1名)	5件(5名)	14件(47名)
2018年度	2件(2名)	2件(2名)	0件	5件(5名)	13件(23名)
2019年度	2件(2名)	0件	1件(1名)	5件(5名)	14件(31名)
2020年度	1件(1名)	1件(1名)	1件(1名)	9件(10名)	9件(18名)
2021年度	2件(2名)	2件(3名)	1件(1名)	13件(34名)	21件(66名)
2022年度	2件(2名)	1件(1名)	1件(1名)	12件(34名)	16件(38名)

※ () 内の人数は述べ人数

【IV 学修成果】

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
29. 就職率の向上が図られているか。	3.3	3.3	3.7	3.7	3.9	3.8
30. 資格取得率の向上が図られているか。	3.6	3.1	3.3	3.9	3.9	3.9
31. 退学率の低減が図られているか。	3.0	3.0	3.2	3.2	2.9	2.9
32. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	2.4	2.4	2.4	2.7	2.4	2.6
33. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	2.2	2.3	2.2	2.5	2.4	2.3

29 については、評価が若干下がったが高評価となっている。表 3 のように、就職希望者の就職率は100%であり、母体病院および実習関連病院など、学生が希望する病院へ就職することができた。1年生から小論文対策として文章読解・作成能力検定の受検、学内において小論文対策や面接練習の取り組みを行っており、在学生・卒業生アンケートにおいても満足度が高い状態が続いている。

30 については、前年度に引き続き高評価となっている。これは、24 の評価と同様に1年次からの国家試験合格に向けた取り組みと3年連続で全員合格という結果によると考える。また、在校生・卒業生アンケートにおける満足度も高い状態を維持している。教員たちが日ごろから国家試験を意識した言葉がけをしていることや個別に学習方法を一緒に考える関わりに加え、心理的なサポートをしていることも高評価につながっていると考える。

31 については、評価は昨年と変化はなかったが、退学者が3名いた(表 6 参照)。迷いながらも看護師になりたいという気持ちがあれば教員間で連携して支える関わりをしていることが高評価の根拠として挙げられていた。また進路変更を希望する学生や精神的に不調をきたした学生へは、本人や家族との十分な話し合いのもと退学となったことから、低減を図る努力をしたことを評価しつつも、退学となったこと

を理由に低評価とした意見もあった。退学率の低減を図る取り組みとしては、入学前からの看護職という職業を理解した上で選択できるようキャリア教育の取り組みも重要であると考えている。引き続き、近隣の中学校の職業講話や高校の進路ガイダンスなどにおいても意識して取り組んでいきたい。

32 については、前年度より評価は若干上がったが、状況としては母体病院や他の病院からの広報誌などからの情報、卒業生が来校したときの状況把握のみで、大きく変わっていない。2022 年度より卒業生の来校状況を把握し、延べ 46 名ほどの卒業生が来校し、来校目的の多くは近況報告と図書室の利用であった。卒後数年が経過した卒業生についての把握は難しいが、今後も来校時には状況把握に努めたい。

33 については、評価が前年度より低下する結果となった。多くの教員が卒業後のキャリア形成への効果の把握が十分にできていないことを理由に評価を下げている。現在、学内におけるキャリア形成や教育活動としては、国家試験対策や就職対策として個々の希望に合わせたサポートをしている。また、認定看護師等の講義や実習を通して直接看護活動を知ること、学生が個々に卒業後に看護師としての自分のキャリアについて考える機会になっていると考える。2022 年度は、卒業後 1 年以内に就職した病院を退職したものが 2 名いた。可能な限りで退職理由を把握し教育活動の改善に努めるとともに卒業後においても進学および再就職等のサポートをしていく必要があると考える。

表 6 退学者数推移

		2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
総数		1	3	1	2	3	2	3
内 訳	2012 年度入学者							
	2013 年度入学者							
	2014 年度入学者	0	2【2】 (6.7%)					
	2015 年度入学者	1(3.3%)	1【1】 (3.3%)	0				
	2016 年度入学者	0	0	0				
	2017 年度入学者		0	1【1】 (3.3%)	2【1】 (10%)			
	2018 年度入学者			0	0	1【1】 (3.3%)	1【1】 (3.3%)	
	2019 年度入学者				0	1(3.3%)	1【1】 (3.3%)	1【1】 (3.3%)
	2020 年度入学者					1【1】 (3.3%)	0	0
	2021 年度入学者						0	1(3.3%)
	2022 年度入学者							1(3.4%)

*【 】内は休学後に退学した者の数 ()内は入学者数中の割合

【V 学生支援】

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
34. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	3.2	3.4	3.6	3.7	3.8	3.8
35. 学生相談に関する体制は整備されているか。	3.2	3.4	3.8	3.8	3.8	3.8
36. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3.1	3.4	3.6	3.5	3.6	3.8
37. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3.3	3.9	4.0	3.8	3.8	3.8
38. 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3.2	3.4	3.6	3.5	3.3	3.4
39. 学生の生活環境への支援は行われているか。	3.2	3.1	3.8	3.6	3.5	3.3
40. 保護者と適切に連携しているか。	3.4	3.6	3.9	3.8	3.6	3.5
41. 卒業生への支援体制はあるか。	3.0	3.3	3.3	3.3	3.3	3.7
42. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	2.9	2.8	2.9	3.0	2.8	3.0
43. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3.1	3.2	3.0	3.5	3.3	3.5

34 については、前年度と変わらず高評価となった。小論文対策、面接試験対策などの実施していること、学生個々の就職や進学を支援していることが高評価の理由として多く見られた。例年、学生アンケートから母体病院以外への就職に関するサポートが弱いという意見があったが、今年度は母体病院以外の就職に対する支援もあったと学生からの声を聞くことができた。

35 についても前年度と変わらず高評価となった。学年担任、学生担当が主に相談窓口となっていること、今年度からは公認心理士の資格を持った看護師が「こころの相談室」のカウンセラーとなったことから、より学生や教員にとって相談しやすくなったことが理由として多く見られた。（こころの相談室利用状況表 7 参照）

36 については、前年度より上昇した。学生支援機構などの支援体制があること、今年度はその支援の対象外となるが、家庭の事情により経済的に困っている学生に対して、庶務課と連携して支援方法の情報収集や対応を検討したことが高評価の一因となったと考える。

37 については、学生生活・学習環境担当チームの活動が定着し、年に 1 回の健康診断やその後のフォロー、抗体価検査結果に基づくワクチン接種の勧奨など計画的に関わっていることで評価が安定している。また前年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策や感染時の対応策が出来ていることを高評価としていた。

38 については、若干評価は上昇した。新型コロナウイルス感染症の感染対策が厚生労働省から提示され、それに則って自治会活動が開催できるよう支援したことを高評価としている意見があった。

39 については、前年度と比べ低下する結果となった。学生生活・学習環境担当チームの教員が主体となって、学校内の生活環境の整備を実施していること、一人暮らしをしている学生の生活状況の把握をしていることが評価された。一方で冷暖房設備が整わないことが課題として挙げられた。

40 については、前年度より若干低下する評価となった。家族と面談をするタイミングとして大卒の取り決めがあり、それを目安に適宜実施し、連携を図っていることが評価されていた。しかし面談を行っているが、適切に連携できているか疑問に感じたという意見や、日頃から家族とも関係を構築していく必要性を感じているという意見もあった。今後も必要時には家族と連携して学生を支援していく必要があると考える。

41 については、前年度より上昇した。卒業生への支援体制として「里帰りデー」の継続、同窓会活動のサポート、図書室・パソコン室利用の開放、技術練習のために卒業生とともに来校した他校の卒業生へも実習室の開放をした。また、就職後のサポート体制として、実習施設へ就職した学生に対しては、声をかけているが、同窓会 LINE を通じて卒業生と連絡が取れることで、卒業生のフォローがしやすくなったという意見があった。2022 年度は卒業生の訪問は延べ 46 名程度であり、多くは近況報告であったが、中には仕事を続けられるのか不安になった状況での相談もあった。今後もインスタグラムで卒業生の訪問状況をお知らせするなど、卒業後も気軽に訪問できるような雰囲気作りにも力を入れていきたいと考える。

42 については、前年度より評価が上昇した。社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備については、既修得単位の認定のみである。社会人も受験しやすいよう土曜日に入学試験を開催したこと、社会人入試がないものの一定数入学してきており、子育て中の学生など、個々の状況に応じて学習しやすい環境となるよう配慮していることが評価された。今後も少子化に伴い、社会人の学生の受け入れも広げていくためにも、様々な制度や体制を整えていく必要があると考える。

43 については、前年度より評価が上昇した。2022 年度は業者を通じて高校の職業ガイダンスや模擬授業、地域の中学校からの職業講話の依頼があり実施した。また地域の小中学生が看護師という職業に興味を持てるよう知多市の福祉フェスティバルにおいて学校のブースを出展することができた。高校生たちが単に資格取得にとどまらず、看護師という職業について理解した上で看護専門学校へ進学を決めることは、のちに退学率の低減にもつながると考える。今後も地域の子どもたちや高校生向けの職業教育に取り組んでいきたい。

表 7 こころの相談室の利用状況

	件数	相談者		内容			
		学生	教員	学習	学校生活	家庭生活	自分自身
2019 年度	14	12	2	7	0	1	6
2020 年度	14	10	4	7	0	3	4
2021 年度	6	5	2	3	1	1	1
2022 年度	16	12	12	0	9	0	7

【VI 教育環境】

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
44. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	2.1	2.6	2.7	2.9	2.9	2.4

45. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	2.1	2.3	2.9	3.0	2.8	2.8
46. 防災に対する体制は整備されているか。	2.7	2.7	2.9	3.0	2.8	2.9

44については、前年度に比べ大幅に評価は低下した。在校生・卒業生アンケート（資料1-7）においても、前年度に比べ低下している。前年度までも課題であった冷暖房設備が、さらに冷房効果が悪くなったことが大きな要因となっている。急遽本年度は、単体で冷暖房設備のある図書室等へ移動して授業を行う対応をし、次年度に向けて各教室へ単体の冷暖房設備の設置をするよう計画をしている。また、学内に売店や近隣にコンビニエンスストアがなく、学生たちの食に関する設備がないことを課題とする意見があった。一方、図書室のバーコードでの管理システム化を評価する意見もあった。

45については、前年度から横ばいの結果となった。低評価とした理由として実習施設で学生が使用する物品が不十分であるという意見があった。この点については、学生の実習終了時のアンケートからも同様の意見があり、申し入れをして整備を依頼した。今後もその都度調整していく必要がある。また、母体病院以外の実習施設の確保が出来ていることを高評価の理由として挙げられていた。

46については、前年度より評価は若干上昇した。状況的には前年度と変化はないが、年に1回の防災訓練の実施と防災グッズの購入をしている。建物の老朽化やガラスの飛散などの危険性、実際に想定した防災訓練の必要性を感じるという意見が複数あった。今後は、防災訓練の方法や防災設備について検討していく必要がある。

【Ⅶ 学生の受入れ募集】

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
47. 学生募集活動は、適正に行われているか。	3.4	3.8	3.7	3.8	3.5	3.9
48. 学生募集活動において、教育成果は確実に伝えられているか。	3.2	3.2	3.3	3.5	3.4	3.4
49. 学納金は妥当なものとなっているか。	3.2	3.4	4.0	3.6	3.8	3.6

47については、評価は上昇し高評価となった。2022年度は、高校訪問などの募集活動に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた進路相談会や模擬授業の依頼が増え、可能な限り参加して対応人数が増えた（表8）。また、日々の学校の様子を発信できるようにインスタグラムを始めたこと、オープンキャンパスは、感染予防策をとりながら受け入れ人数を増やして実施したことが高く評価されていた。オープンキャンパス等参加状況は表9に示す。2022年度の受験者数は、前年度より若干減少したがほぼ維持することができた（表10）。18歳人口の減少および大学進学希望者の増加に伴い、受験生確保が急務であり、引き続き募集活動の方法や範囲の拡大について検討していく必要があると考える。

48について評価は、横ばいである。入学生へのアンケートから国家試験の合格率や少人数によるきめ細かいサポート体制であることを知って本校を選んだという意見があったことから、ホームページやパンフレット、ガイダンス等などの募集活動で伝えられているという意見が複数あった。

49については、引き続き在校生・卒業生からの評価は高い状況となっている（資料1-8）。しかし、教員の評価は低下している。低評価の理由としては、社会情勢（物価高）や学内設備の充実に向けて、学

納金をもう少し上げてよいのではないか、という意見であった。他校の状況を踏まえながら、妥当であるかどうかについて検討をしていくことが必要であると認識している。

表 8 進路相談会参加実績

	進路相談会			複数校対象進路相談会			学校訪問 対応者数	総対応 人数
	参加 回数	対応者数		参加 回数	対応者数			
		学生	保護者		学生 (社会人)	保護者		
2017年度	10	79	5	8	106(13)	8	18	216
2018年度	7	75	1	7	83(5)	10	15	184
2019年度	9	87	2	4	32(6)	5	6	132
2020年度	6	75	5	1	4(1)	1	5	90
2021年度	12	91	4	3	61(1)	5	12	173
2022年度	26	215	6	4	47(4)	4	3	275

表 9 オープンキャンパス等参加状況

	オープンキャンパス			Web 学校訪問		
	参加申込数	実参加者数	内受験者数	参加申込数	参加者数	内受験者数
2017年度	83	77	39			
2018年度	103	98	46			
2019年度	121	107	41			
2020年度				29	29	12
2021年度	65	39	22	21	18	5
2022年度	84	71	43	5	5	3

表 10 受験者数の動向

入学 対応年	受験者		合格者		入学者の居住地			
	一般	推薦	一般	推薦	東海市	知多市	名古屋市	その他
2016年	111	7	24	6	6	8	2	14
	108	7						
2017年	123	7	24	6	5	6	6	13
	118	7						
2018年	104	11	20	10	5	8	3	14
	100	11						
2019年	118	15	18	12	0	9	1	20
	115	15						
2020年	93	13	21	9	9	9	1	11
	92	13						
2021年	87	19	45	13	9	10	0	11
	85	19						
2022年	93	15	49	12	9	8	3	9
	92	15						
2023年	90	17	48	15	7	8	1	19
	87	17						

※受験者の上段は申込者数、下段は受験者数

※その他の下段（ ）内数字は東海市・知多市以外の知多半島内居住者

【Ⅷ 財務】

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
50. 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか。	3.1	3.0	3.4	3.6	3.8	3.4
51. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3.4	3.4	3.7	3.6	3.6	3.5
52. 財務について会計監査が適正に行われているか。	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.9
53. 財務情報公開の体制整備はできているか。	3.5	3.8	3.8	3.7	3.6	3.8

50 については、評価は昨年に比べ大きく低下した。電気代等の燃料費の高騰、備品や消耗品の値上げに伴い、年度末に予算的に厳しい状況となったことで安定しているとは言えないという意見があった。前年度と同様に、備品の購入などの予算案作成や予算執行状況について教員が把握できるようになり、財務基盤が安定していると評価した意見もあった。今後も計画的に設備の改修や備品購入をしていく必要があると考える。

51・52・53 については、若干評価は変化しているが、前年度の評価と同様に、組合議会での審議を得ていること、会計監査を受けていること、組合議会報告としてホームページで情報公開されていることが高く評価されていた。

【Ⅸ 法令等の遵守】

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
54. 法令、看護師等養成所指定規則等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9
55. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3.2	3.4	3.7	3.6	3.7	3.2
56. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	1.7	2.7	3.0	3.3	3.5	3.6
57. 自己評価結果を公開しているか。	1.5	2.8	3.4	3.8	3.7	3.8

54 については、評価は横ばいである。指定規則を意識して運営がされたこと、必要時には県の医務課と相談しながら運営していることを評価する意見があった。

55 については、評価が大きく低下した。例年通り、個人情報の取り扱いについて実習前のオリエンテーションや誓約書等で周知徹底していたにもかかわらず、遵守できなかった学生がいたことが理由に挙げられていた。今回の事象を振り返り、より具体的な説明が必要であるとともに日頃から学生たちが自分自身の情報も含めて個人情報の扱いについて倫理的な視点で考えることができるよう関わっていく必要があると考える。また今後は、生成 AI の利用に関するガイドラインについても、早急に検討していく必要があると認識している。

56 については、評価は徐々に上昇してきている。前年度評価点が低いものに対して、できるところから改善を行っていることが評価された。2022 年度は、低評価となった項目に関して会議内で話し合うこ

とができなかったため、2023年度は教職員共に改善点を話し合っていきたい。

57については、自己点検・自己評価の実施とホームページでの公開が高評価の理由として挙げられていた。

【X 社会貢献・地域貢献】

評価項目	評価結果					
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
58. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	2.8	2.8	2.8	2.7	3.2	3.3
59. 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	3.4	3.4	3.4	3.0	3.0	3.4
60. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。	1.7	2.3	2.4	3.1	2.9	3.1

58については、前年度に比べ評価は若干上昇している。献血活動や母体病院において職員向けの文章講座の協力や図書の貸し出しを行っていることが高評価の理由として見られた。

59については、評価が上昇した。2022年度から知多市の福祉フェスティバルが再開されることになり、そのボランティア参加や知多警察署の犯罪防止キャンペーンへの参加協力をしたことを高評価とする意見が複数あった。

60については、前年度に比べ若干評価が上昇した。地域の小学校での「命の授業」への協力を評価した意見が複数見られた。今後も地域との交流を図り、教育機関として地域貢献していきたいと考える。

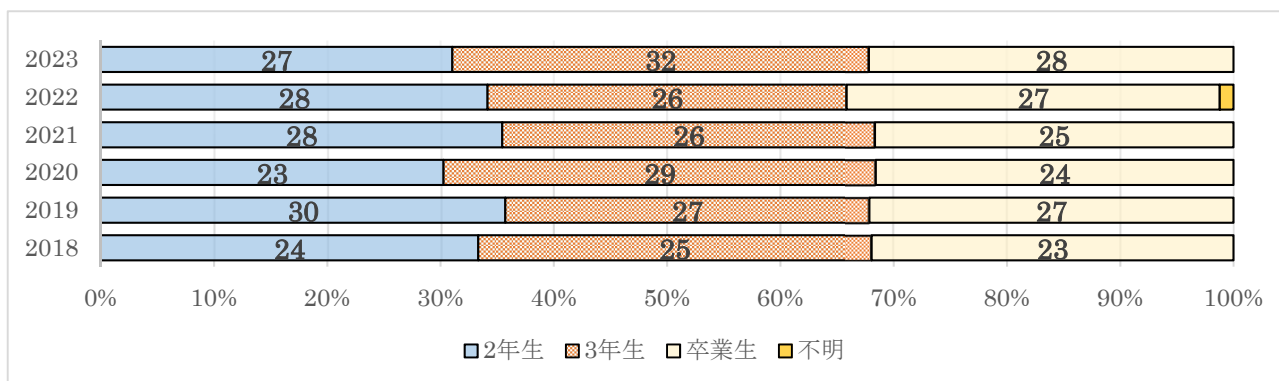
資料 1

2023 年 3 月在校生・卒業生アンケート集計結果

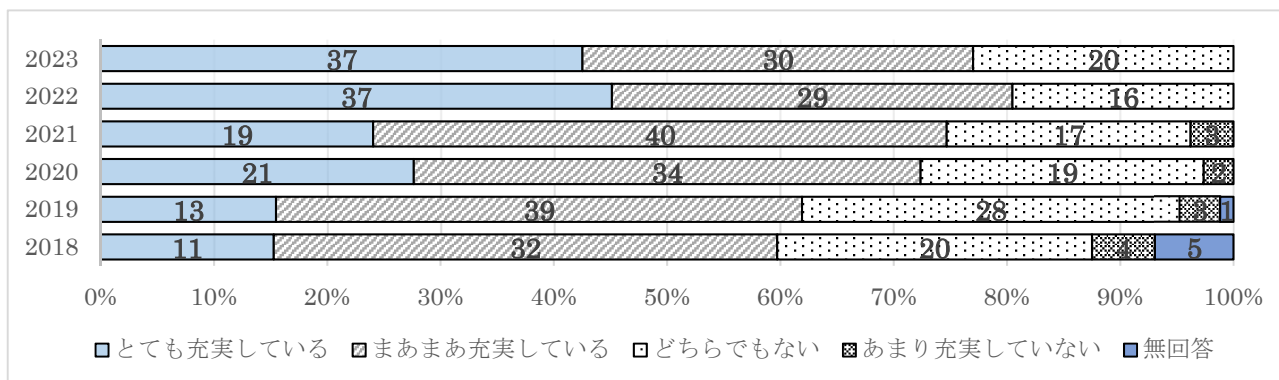
※自由記述部分（固有名詞以外は、原文のまま）は今年度回答結果のみ

1 アンケート回答者数 87 名

（新 2 年生：27 名 新 3 年生：32 名 卒業生：28 名）



2 就職に関するサポートについて、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても充実している

[3 年生]

- ・ 自分の社会人基礎力を把握することができるから
- ・ しっかりと指導してくれているから
- ・ 色々練習してくれる
- ・ 面接練習や、履歴書の訂正が丁寧
- ・ 相談に乗ってくれるから

[卒業生]

- ・ 西知多総合病院ではない病院に就職することになったが、担当教員はじめ、色々な先生に就職に関してのサポートしていただいた。（病院探し・面接練習等）
- ・ 面接練習が多い
- ・ 進学後の就職について不安に感じていたことが教職員の支援により解決できたから

- ・ 病院が実習先であるためわかりやすく先生もそこで働いていた人がほとんどなため病院のことについて教えてくれたりアドバイスがある
- ・ 丁寧だから
- ・ 面接の練習や小論文の対策の取り組みがあったため
- ・ 多くの先輩方からの声が聞けるから
- ・ 面接など徹底的に指導してくれる
- ・ わからないことを相談できたため
- ・ 詳しく説明が聞ける
- ・ 面接練習などを何度も丁寧に行ってくれる
- ・ 面接練習や小論文対策などさまざまな対策をしてくださったから
- ・ 就職試験のために2年生の内からサポートしてくれたから
- ・ 2年生から面接や小論文の対策を行ってくれた
- ・ 面接練習
- ・ 面接の練習など色々行ってくれるため
- ・ 附属の病院についての事務的なことをスムーズにできた
- ・ 面接練習や履歴書の書き方についてなど、指導を受ける時間が作られていたから
- ・ 実習先の病院に行くことができるから
- ・ 面接練習が多い
- ・ 担当教員との面談や数回にわたる面接練習が組み込まれているから

(2)まあまあ充実している

[2年生]

- ・ 病院と連携しているから。
- ・ 検定など取っているため就職を見据えて行動していると感じた
- ・ 奨学金を借りたことにより、半分保証されているため
- ・ 西知多に行ける確率が高い
- ・ 病院からお金が貰える制度があることにより、西知多で働くという考えが出来ること

[3年生]

- ・ 定期的に就職についての話をきくことができるため
- ・ 1年生から就職についての指導があるため
- ・ 面接は回数が多く設けられているイメージだが、小論文のイメージはあまりないから
- ・ 面接練習をしてくれるから

[卒業生]

- ・ 面接練習とか手厚いサポートしてもらえた

(3)どちらでもない

[2年生]

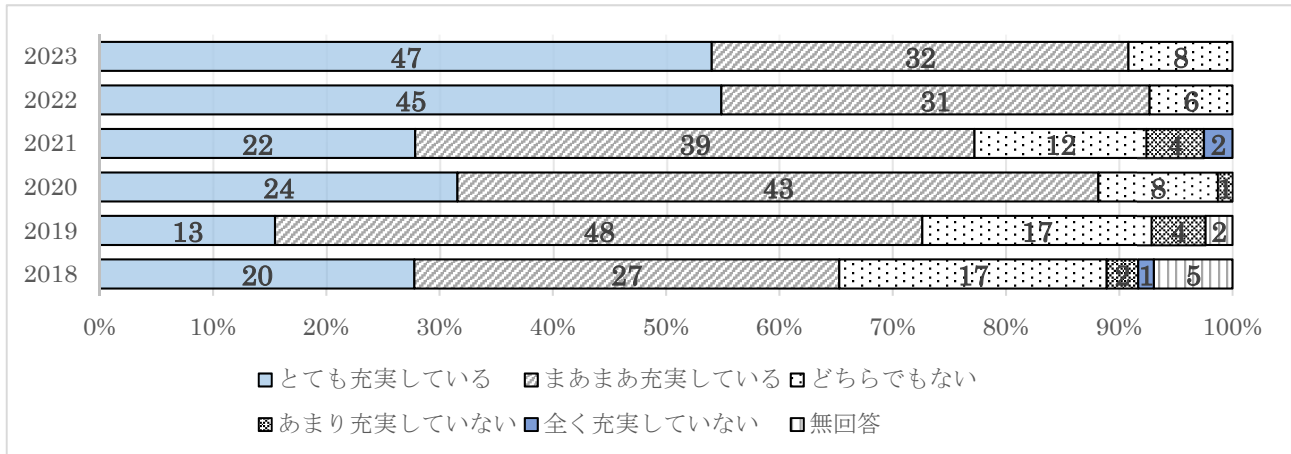
- ・ まだあまりきちんと受けていないから
- ・ よくわかんないです

- ・ まだ就職に対して何もやっていないため
- ・ 修学金で就職先が決まる
- ・ 就職についてなにも行ってないため
- ・ まだあまり実感していないから

[3年生]

- ・ 就職のサポートはあまり力入れてないように見える

3 国家試験に関するサポートについて、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても充実している

[2年生]

- ・ 1年からやっているから
- ・ いろんな過去問や教材があり、アプリの存在を教えてもらえて勉強をするように促してくれるから
- ・ メディリンクなどがあるから
- ・ ワークやアプリで行えるから。
- ・ 呼びかけをしている

[3年生]

- ・ 1年生から国試の指導があるため
- ・ やり方がわからなくても教えてくれるから
- ・ 国試対策チームが作られており、国試に向けての準備が良いから
- ・ 頻繁に国家試験対策のための時間を得られるため
- ・ 勉強教えてくれる

[卒業生]

- ・ ほかの学校には無い教科組サポートや模試が頻繁に行われること、先生が声をよくかけてくれたりすることから継続して頑張ろうと思えたため
- ・ 一人一人の先生が親身になって相談に乗ってくれるから
- ・ 学習する環境を作ってもらえた
- ・ 気にかけてくれる
- ・ おすすめの参考書を教えてくれる
- ・ 一緒に考えてくれる

- ・ 教員が教材や勉強方法について教えてくれたから
- ・ 国試担当教員が決まっているため相談しやすい
- ・ 自分に合った勉強方法を確立できたと思ったから
- ・ 手厚かった
- ・ 先生達が親身になって相談に乗ってくれる
- ・ 相談しやすい環境
- ・ 勉強しやすい環境だった
- ・ 他の学校よりも充実していると思う
- ・ 定期的にメールの配信があったり、模試が受けられたりするので充実していると思う。また、担当教員が気にかけてくれた
- ・ 勉強するように沢山声をかけてもらえる
- ・ 勉強の仕方やアドバイスに乗ってくれる
- ・ 勉強方法はもちろん心理面においてもサポートがあって心強かった
- ・ 勉強方法を教えてもらったため
- ・ 勉強法について相談に乗ってくれたから
- ・ 補習のようなことをやってくれたため
- ・ 模試とかいろいろしてくれる
- ・ 問題集を借りることができ、教員が親身に話を聞いてくれる

(2)まあまあ充実している

[2年生]

- ・ 1年生のうちにたくさんしなさいと言ってくれるため
- ・ メディリンクなどをしているので充実していると感じた
- ・ 冊子が置いてあり、一年生の頃から勉強する時間があるため
- ・ 積極的に先生が声掛けをしてくれるため
- ・ 勉強時間を作ってくれるから

[3年生]

- ・ こういったサポートがないとやらないから
- ・ 国試対策とかしてくれているから
- ・ 自分で勉強してね~という感じでどう勉強したらいいとかあまり言われる機会がないから
- ・ 模試や模試対策を1年生の頃からやっている

[卒業生]

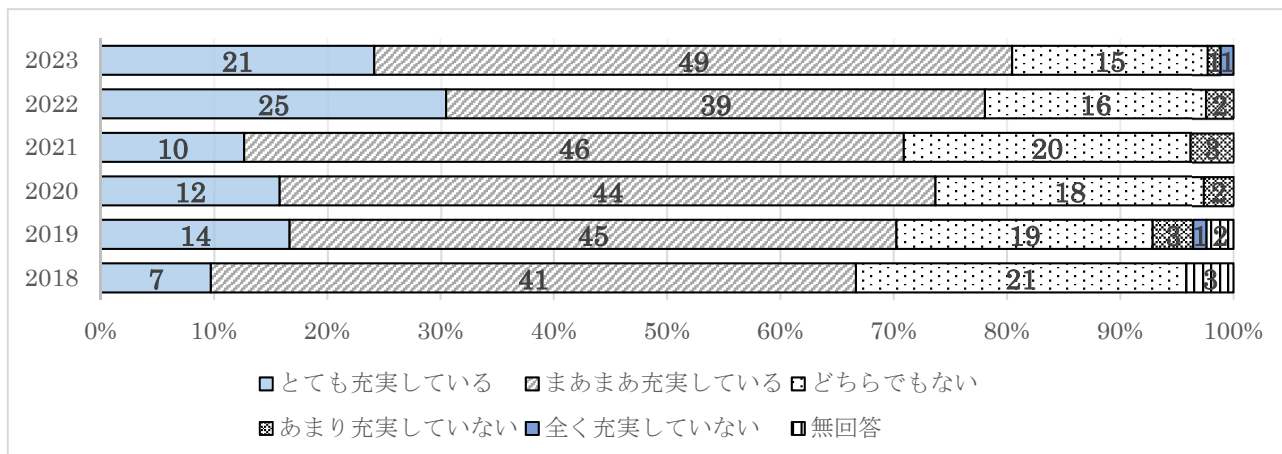
- ・ 強化組に入ることは無かったが、今の自分がどの範囲が苦手で、どう勉強していけばもっと点数が上がるか一緒に考えてくれた

(3)どちらでもない

[2年生]

- ・ ただ勉強しろと言われて勉強の時間を作られても、どんな勉強をしたらいいかわからないから

4 授業についてあなたはどのように感じていますか？



(1)とても充実している

[2年生]

- ・ 楽しく受けられているから
- ・ パワポや演習などで分かりやすく説明してくださっている

[3年生]

- ・ 授業後、アンケート感想等を取り入れているのが良い
- ・ わからないことに対し丁寧に教えてもらえるため
- ・ 復習してくれる
- ・ レジメとかあるので、振り返るのに使える

[卒業生]

- ・ 必要な知識を補えたと感じたから。
- ・ グループワークとかでみんなの意見が聞けたりする
- ・ 丁寧だった
- ・ 理解度を把握しながら行ってくれた
- ・ わかりやすい
- ・ 先生の体験の話など聞いた。
- ・ 専門的な知識を学ぶことができる

(2)まあまあ充実している

[2年生]

- ・ 医者の授業でプリントや教科書を丸々読んでいだけで、全く分からないところがある。自分で教科書を読めば良くて、授業の必要性が分からなくなる

[3年生]

- ・ 特に不満はないため
- ・ たまに何やっているのかわからない時がある
- ・ グループワークが多い

[卒業生]

- ・ 教員の授業は分かりやすいが、外部教員(特に医者)になると、難しい時があった
- ・ 大事なところや国試に問われやすい事を教えてくれる
- ・ 小テストとかあって理解に繋がる
- ・ みんなの理解度を確認しながら進めているから
- ・ 実習や国試勉強の際に授業で行ったことが活かせることがあったため
- ・ ○○先生の授業が特に聞きやすくわかりやすかった
- ・ プリントとかわかりやすいように改善してくれる

(3) どちらでもない

[2年生]

- ・ 特に関心がないです
- ・ よくわからない授業がある。(必要なのか)
- ・ もう少し演習が欲しい
- ・ 同じ授業内容の科目がある
- ・ 演習がもっと欲しいから

[卒業生]

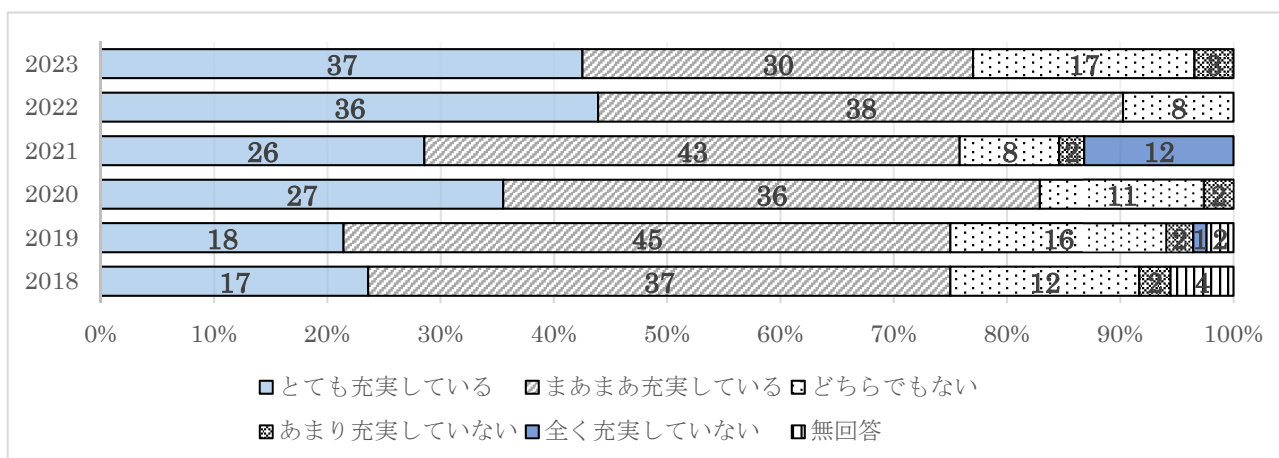
- ・ 解剖生理学について、もう少しわかりやすい授業を受けたかった

(4) あまり充実していない

[2年生]

- ・ ある程度はしかたないと思っていますが、前日とかに突然変わったりテストの内容が変わったりするのは困惑するのでやめてほしいです

5 実習について、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても充実している

[2年生]

- ・ 基礎1だったこともあり、先生や指導者さんが優しく丁寧に教えてくださったから

[3年生]

- ・ 将来就職する時に役立つから
- ・ 適切な指導をいただけるため
- ・ やりがいを持って実施できているため
- ・ わからないことを導いてくれる

[卒業生]

- ・ 記録は大変だけど頑張った分褒めてもらえる
- ・ 辛い時、実習担当の先生が寄り添ってくれて、ただただ実習でまなぶだけでなく心理面のサポートもあったから。
- ・ 実習先が一定であるため、慣れて緊張もあまりしない、就職してからのイメージが持てる
- ・ 先生厳しいけど優しい
- ・ 先生や指導者の方々が丁寧に指導してくださるため
- ・ 精神的にもサポートしてもらった
- ・ 先生達が精神的にも支えてくれる
- ・ 救急車同乗実習や夜勤実習がある
- ・ 記録の書き方やケアの方法について様々な視点から指導を受けることができたため
- ・ 悩みや分からないことをきいてくれる
- ・ 困った時助けてくれた

(2) まあまあ充実している

[3年生]

- ・ 言っていることが難しい時がある

[卒業生]

- ・ 先生が支えてくれる
- ・ 実際の現場で学べてリアリティがある
- ・ 学内実習になってしまったことがあったが、その領域について学ぶことができた
- ・ 実習先の病院が優しく指導してくれ、記録を書く際もすごくサポートしてくれたため。
- ・ ワゴンが足りず、困ることがあった

(3) どちらでもない

[2年生]

- ・ まだやっていないから
- ・ まだ行けていないのでわかりません
- ・ まだ行けていないため
- ・ まだ実習に行っていないため分からない
- ・ まだ1回しか経験してないのでまだよく分からない
- ・ まだ行ってないからわからない

[3年生]

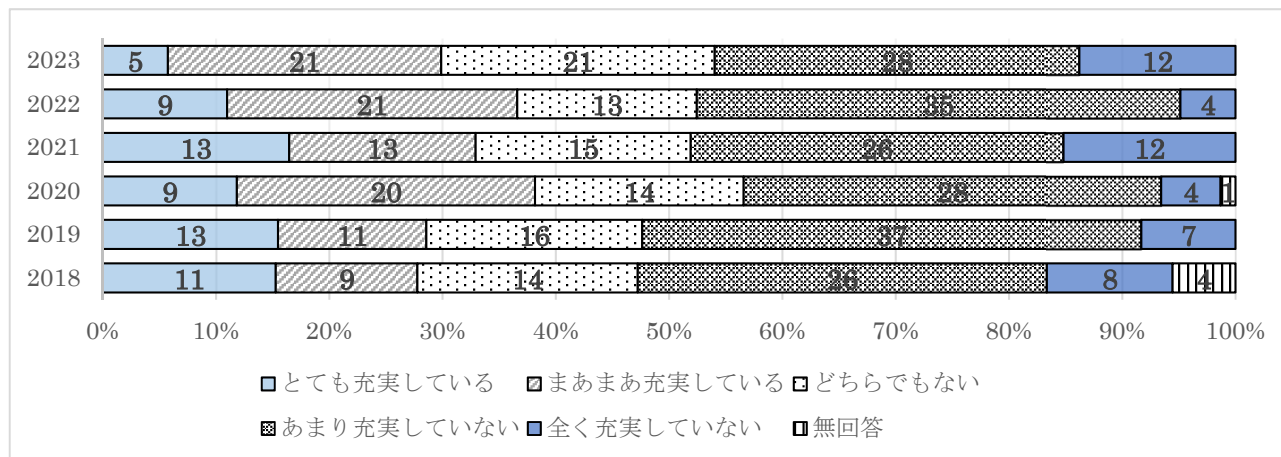
- ・ 記録物が多くて睡眠時間が足りない

(4)あまり充実していない

[3年生]

- ・ とりあえず行けば終わっている

6 学校までのアクセス・立地条件について、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても良い

[2年生]

- ・ 自宅から近いから。

[卒業生]

- ・ 家から車で5分

(2) まあまあ良い

[3年生]

- ・ 駅から15分程度でそれほど距離があるわけでもないため
- ・ 駅から遠い。駐車場からの坂がきつい

[卒業生]

- ・ 駅から遠いけど、車使えるからいい
- ・ 車で通えるから
- ・ 駅からは遠い
- ・ 電車通学だと最寄りから学校までの距離が遠い
- ・ 車で通うことができるのはいい"
- ・ 車だったら大丈夫
- ・ 3年間電車通で慣れたが、歩きが割と長いと思う。夏は坂がキツイ
- ・ 車だと便利だが電車だと遠い

(3) どちらでもない

[2年生]

- ・ 家からは近いけど、近くにコンビニがない

[3年生]

- ・ 駅から距離があるため
- ・ 坂が多い
- ・ 駅から遠い
- ・

[卒業生]

- ・ 駅から遠い3
- ・ バス登校組からすると、何とも言うことは無いです
- ・ 駅から遠いが車で通うことが出来る
- ・ 車だからそこまで困らないが電車通学だと少し遠い
- ・ 駐車場の位置のよっては出にくい

(4) あまり良くない

[2年生]

- ・ 古見駅から遠い3

[3年生]

- ・ 駅から少し遠い
- ・ 電車通学の方は駅から遠いから
- ・ 古見駅から学校まで遠い
- ・ 最寄りから遠い、バスの本数が少ない

[卒業生]

- ・ 駅から遠い3
- ・ ちょっと遠かったです
- ・ 駅から遠く、車も台数限られているから

(5) 全く良くない

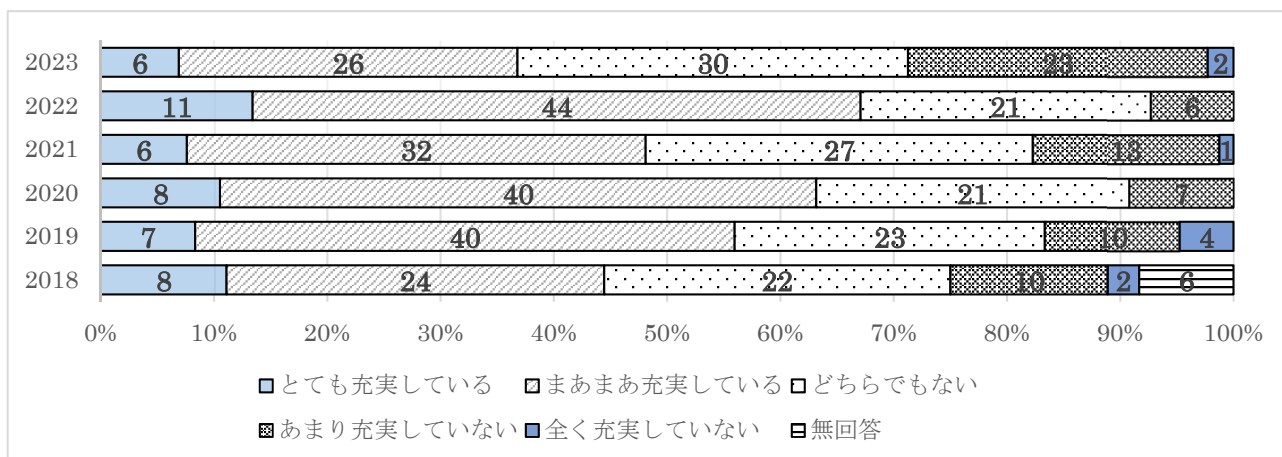
[2年生]

- ・ 駅から遠い、最後坂を登らないといけない、駐車場からちょっと歩く
- ・ 駅から遠い、帰り道が暗くて危ない、駐車場が遠くて駐車場がなくなるか心配になる
- ・ 駅から遠い、駐車場が少ない、帰り道が暗い
- ・ 駅から遠いため。街灯がないため。
- ・ 離れすぎです

[3年生]

- ・ 駅から遠い

7 学校の施設・設備について、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても良い

[卒業生]

- ・ 不便はなかったため
- ・ 電子レンジが増えた

(2) まあまあ良い

[2年生]

- ・ トイレが綺麗
- ・ トイレは綺麗だから嬉しいです。でも音漏れが気になります

[3年生]

- ・ 小さすぎず、広すぎず過ごしやすいから
- ・ 物品が壊れていたり、古いものがある

[卒業生]

- ・ 病院で使っていていらなくなったものがそのまま学校に来る
- ・ 古いところもあるけど、新しいものもある
- ・ 実習と近い物品がそろっている
- ・ 暖房がつかない時がある
- ・ 寒かったり暑かったりする
- ・ 冷暖房が充実していたらもっと良かった
- ・ 慣れたからそこまで不便に感じなかった
- ・ たまに寒かったり暑かったりするぐらい

(3) どちらでもない

[2年生]

- ・ 夏季の環境が整っていない（冷房が効かなくて暑すぎる）
- ・ 時々、壊れているものもあるから

[3年生]

- ・ 機材がどうしても古いため
- ・ 物が壊れやすい

[卒業生]

- ・ 困ったことは特にない
- ・ ところどころ木造の劣化が見られて怪我したことがあったので怪我する危険がないようになればなと思った
- ・ 病院では使われていない古いものもある

(4) あまり良くない

[2年生]

- ・ 空調が良くない
- ・ 夏が暑すぎる
- ・ ロッカーが小さい
- ・ 暑いか寒いかで調節しにくい。机の引き出しとロッカーが小さすぎて収納ができない
- ・ 物品が少ない

[3年生]

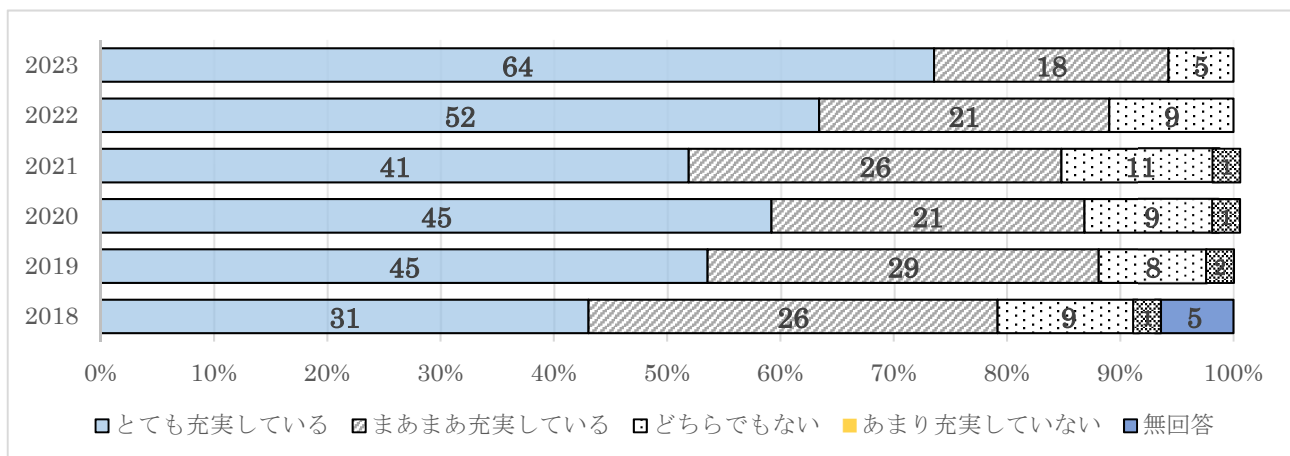
- ・ 冷房設備が悪い
- ・ 夏は暑苦しく冬は寒いので、設備の修繕をお願いしたい
- ・ 夏がとても暑い
- ・ エアコン壊れている

(5) 全く良くない

[2年生]

- ・ お金がないからという理由で極寒の日に寒くて狭い部屋に押し込まれてありえないと思いました。実習などに行く以上学生の健康が第一ではないのでしょうか

8 学費など必要な経費について、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても良い

[2年生]

- ・ 安いから2
- ・ 安くてありがたい
- ・ 安くて良い
- ・ 学費は安いと思う

[3年生]

- ・ 安い3
- ・ 他の学校に比べて安いから
- ・ 学費がとても安い
- ・ 他と比べて安いと思うため
- ・ 安いし奨学金も借りられて良い

[卒業生]

- ・ 安い6
- ・ 授業料は安いので助かっています
- ・ 支援金の制度もあり学費に関して不安要素はなかったから
- ・ 学費が安い
- ・ 他の学校と比べて本当に安い有難い
- ・ 安くていい
- ・ 学費が安い
- ・ 授業料が高すぎない
- ・ 学費が安く大きく負担にならない
- ・ 学費が安い
- ・ 家族ともたまに話すがほかの学校より安いと思うため
- ・ 修学金制度があり良かった
- ・ 安い 親孝行！

(2) まあまあ良い

[2年生]

- ・ 引き落としにしてほしいです。

[3年生]

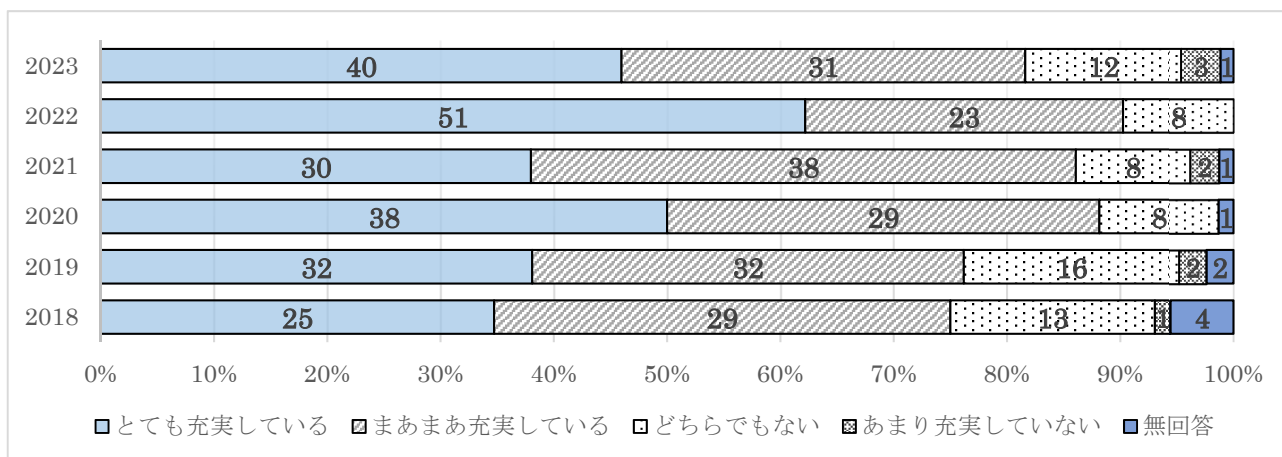
- ・ 問題ない

(3) どちらでもない

[2年生]

- ・ 使っていない教科書代

9 教員について、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても良い

[2年生]

- ・ 結構割と好きです！
- ・ 担当教員がいて、特に実習の際にとっても寄り添ってくださるから
- ・ 話しやすい
- ・ 寄り添ってくれる先生が多い

[3年生]

- ・ 話聞いてくれる。みんな優しい。
- ・ 熱心に指導をしてもらえるため
- ・ 教育に熱心
- ・ 家族のように接して下さり、相談しやすい

[卒業生]

- ・ 親身～～
- ・ 生徒の悩みを聞いてくれる
- ・ 親身に寄り添ってくれる
- ・ 親身になってくれる
- ・ どの先生も優しく親身になって話を聞いてくれる
- ・ 先生が優しいだいき
- ・ 心強くて支えてくれた
- ・ 先生達全員優しい愛がある
- ・ 色々な先生が親身になって話を聞いてくれる
- ・ 優しくて尊敬できる先生ばかりだから
- ・ アットホームで相談しやすい環境でいい
- ・ 優しい2
- ・ そもそも人数が少ないため生徒一人一人にすごく目をかけてもらえていると思う。
- ・ 教員一人一人が学生に親身になってくれて良かった
- ・ 親身になって話を聞きサポートしてくれる
- ・ 親身になって接してくれる

(2) まあまあ良い

[2年生]

- ・ 親近感があるのはとてもいい
- ・ 親身になってくれる

[3年生]

- ・ 良い
- ・ 話を聞いてくれる

[卒業生]

- ・ 手厚かったです
- ・ 気にならない先生の方が多いですが、教員によって生徒との接し方に差があるように感じることもある、また伝え方が少し気になる先生がいるため

(3) どちらでもない

[2年生]

- ・ いい時も悪い時もある

(4) あまり良くない

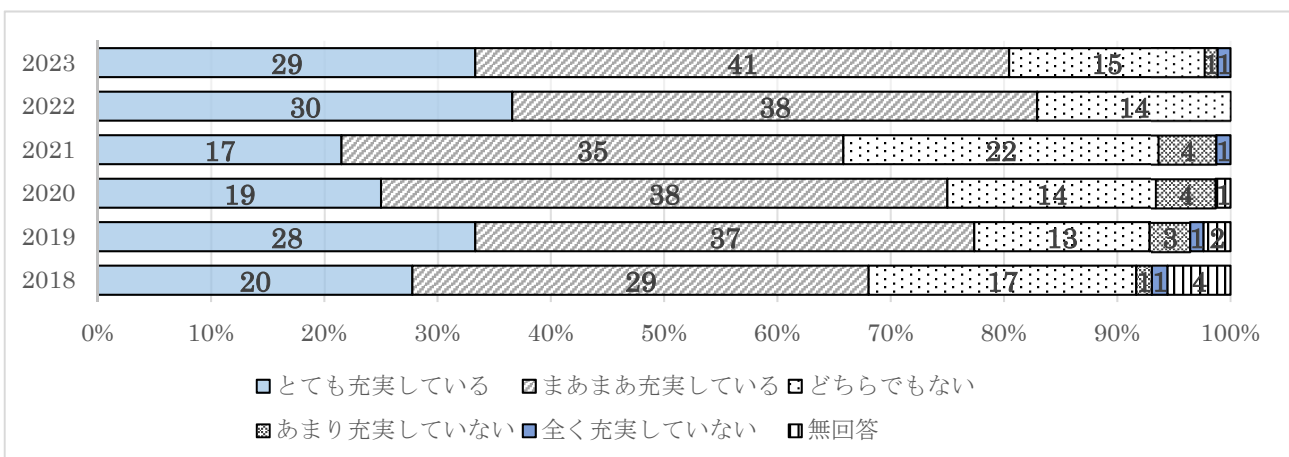
[3年生]

- ・ 状況把握している先生としていない先生がいて、混乱してしまう。意見を一緒にして欲しい。そして、言い方を改めて欲しい

[2年生]

- ・ 授業に遅刻してきたのに謝罪もないうえに挨拶が遅いと怒鳴ってくる、呼び出したのに15分以上は待たされる、且つ急いで来ない、理不尽なことで怒るのなどはやめてほしい

10 学生生活全般について、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても良い

[卒業生]

- ・ とても楽しかったし充実した生活を送れた

- ・ 楽しかったです。いろいろありましたが充実していました
- ・ 30人と少ないため仲良くなりやすい
- ・ この学年が最高に良い学年だったから楽しかった
- ・ みんな仲良くてアットホーム
- ・ 少人数制ということもありみんな仲がいい
- ・ 生徒を見捨てないでいてくれる
- ・ 友達ともすごく仲良くなった
- ・ クラスのみんなが優しく楽しい
- ・ クラスメイトは親戚で困った時に助けてくれる
- ・ 楽しい
- ・ 楽しかった

(2) まあまあ良い

[2年生]

- ・ 楽しい3
- ・ いいときと悪い時がある
- ・ 友達がいるためとても楽しく学校に行けることができる
- ・ クラスの友達はいい
- ・ 行事があつて楽しい
- ・ クラス仲良くて楽しい!!!

[3年生]

- ・ 勉強が好きでは無い
- ・ たまに嫌なことある

(3) どちらでもない

[3年生]

- ・ 楽しく過ごせているため
- ・ チームで動くことが多い

11 その他学校への要望や期待すること等、自由にお書きください。

[2年生]

- ・ アイスの自販機が欲しい。
- ・ もう少し夜遅くまで残りたいです。せめて7時!!8時までなら好きです♡ 髪色も服装ももっと個性を出したい！（アイデンティティの確立）
- ・ ロッカーが狭いです。
- ・ ロッカー狭い。
- ・ 髪色 服装 厳しい。
- ・ 実際に使わない教科書が多すぎて、教科書代がだいぶ無駄になっている気がする。ロッカーがせまい。

- ・ 食べ物買えるようにして欲しいです！
- ・ ロッカーが小さい…です…。
- ・ 髪色の自由化・服装の自由化（アイデンティティの確立である）。
- ・ 最終下校時刻を伸ばしてほしい。勉強する環境が学校しかないから。
- ・ 髪色を実習以外自由化。
- ・ 服装の自由化。
- ・ 学校に残れる時間を伸ばしてほしい。
- ・ 机の大きさが小さい。ロッカーが小さい。
- ・ 髪色自由、放課後に学校に残れる時間を増やして欲しい、机とロッカーの拡大、暖房冷房の設備。
- ・ 服装自由にしてほしい。髪色の制限を緩くして欲しい。売店が欲しい。

[3年生]

- ・ 指導する教員は同じにして欲しい。
- ・ 全館冷暖房。

[卒業生]

- ・ 掃除や挨拶など学校の伝統で他学年と SNS でトラブルになっていたり、解決も難しいので、もう少し教員が介入してほしいと思うことがある。

12. 教職員への元気が出るメッセージ

[2年生]

- ・ いつもありがとうございます。
- ・ いつも優しくしてくださって、感謝です！
- ・ お母さんばかりだから話しやすいです(^^)
- ・ 何かを質問すると親身に答えてくれてとても助かってます！
- ・ 学校に残って勉強とか実技練習しているとき、褒めてくれるのめっちゃ好きです♥
- ・ 頑張っていると褒めてくれるのが嬉しいです。
- ・ 寄り添ってくれる先生が多くて好きです。
- ・ 勉強していると褒めてくれるので好きです。
- ・ 仕事頑張ってください。
- ・ 実習時沢山褒めて下さりありがとうございます！大好きです！
- ・ 沢山話しかけてくれてとてもありがたいです！
- ・ 担当の先生大好きです！！

[3年生]

- ・ いつもありがとうございます！これからもよろしくお願いします。
- ・ 実習中先生たちの優しい言葉にとっても救われています。これからもよろしくお願いします。"
- ・ いつも支えて下さりありがとうございます。
- ・ いつも親身になって指導してくださりありがとうございます。
- ・ お世話になっております。
- ・ お母さんみたいな先生たちが大好きです！
- ・ みんな優しい。
- ・ 頑張ってください。

- ・ 実習の時の指導が分かりやすく丁寧。
- ・ 先生がいないと生きていけません。
- ・ 相談に乗ってくれてありがとうございます。
- ・ 他の学校と比べて学生をしっかりと見てくれている。

〔卒業生〕

- ・ 3年間ありがとうございます☺
- ・ 助けられながらなんとか卒業までたどり着けました。
- ・ 3年間自分の中で色々ありましたが、すごく支えて貰えたと思います。特に自分の家族に色々会った時に声をかけてくださったことがいちばん大きかったです。本当にありがとうございました。国試が受かり働き始めてもたまに逢いに来たいと思います。
- ・ いつも講義や実習で支えてくださりありがとうございます！優しくいい先生ばかりで充実した3年間を過ごすことができました。
- ・ 今まで色々なサポートをしていただきありがとうございました。先生たちのおかげで実習も頑張ることができました。
- ・ 最高の先生方でした！留年しても卒業まで導いて頂きありがとうございました！！
- ・ 実習の時に悩みを聞いてくれたことが心の支えになりました。ありがとうございます！
- ・ 授業や実習以外でも色んなところで話をすることが出来て楽しかった。
- ・ 先生たちのおかげで楽しく過ごせた。
- ・ 人として尊敬できる方がいっぱいです。楽しい学校生活でした。お世話になりました。
- ・ 数ある看護学校の中からこの学校に入ってよかった！！
- ・ 先生だいすき！！先生たちが先生でよかった！！
- ・ 先生たちと沢山関わることができてたくさん色々なことを教えてくれてありがとうございます！！大好きです！
- ・ 先生たちのサポートがあり学校を卒業することができました。本当にありがとうございました。
- ・ 先生はみんな優しく話やすく、相談がしやすかったです。
- ・ 先生みんな優しく大好き。
- ・ 先生大好き！！
- ・ 先生方のおかげで3年間頑張れました！！
- ・ 苦しい時そばにいてくれてありがとうございました！！
- ・ 先生方みんなが優しく、3年間乗り切ることができました。いつも生徒のことを考えてサポートして下さいありがとうございます。8で理由を書きましたが、でも先生方全員のことが大好きです。ありがとうございました。
- ・ 本当にこの学校に来て良かったと思います。卒業した後でも遊びに来たいと思える学校だと思います。
- ・ 本当に辛い実習や悩んだ学校生活も、先生のサポートのおかげでここまで来れたのが本当にすごいです、ありがとうございました、先生だいすきです。

公立西知多看護専門学校自己点検・自己評価の講評

評価者 公立西知多総合病院

副院長兼看護局長 宮原晴子

私自身が前校長として 2017 年度の自己点検・自己評価を開始して、昨年度、病院へ異動し、初めて講評を担当することになりましたことを大変感慨深く感じます。そして、評価を継続して実施し、その結果から改善活動を進められていることに、まずもって敬意を表したいと思います。その上で、以下に、今回の評価結果について私見を述べさせていただきます。

I.教育理念・教育目的・教育目標について

新カリキュラムが動き出したことと校長の交代により、新しい風が吹き、改善という変化が起こっていることが読み取れました。中でも学校の設置目的を踏まえた将来構想を抱いていることや教育理念の周知が繰り返し実施されるようになったこと、業界のニーズを踏まえた教育目的・教育目標であることにおける評価が上がっていることは、注目に値すると思います。

II.学校運営について

当項目の評価については、評価が下がっていることが気になりました。これについては、人事異動や退職による影響もあるかと思われませんが、様々な情報の共有方法が提示されていないことが要因であると考えます。実際には整備されていることが、組織内で評価されないことは残念なことであるため、情報共有されることを期待します。

III.教育活動について

新カリキュラムの始動によって、全体的に評価が上がっていると考えます。看護基礎教育と臨床で必要と考える実践能力との乖離をなくすために、当院としては、看護技術教育プログラムへ参画することを検討していきます。また、教員の指導力育成のため、臨地での研修にも協力していきたいと思います。

IV.学修成果について

国家試験について 3 年連続で全員合格という結果は素晴らしいと思います。先生方のサポートが行き届いている成果であると考えます。また、卒業生の社会的な活躍および評価の把握については、他校から当院に就職している看護師について、評価を依頼されることもあるため、そのような取組みも参考にされると良いと思います。一方、多くの急性期病院では新人看護師の早期退職が問題視されておりますので、当院においては、同じ組合立であるメリットを活かし、新人看護師のサポートにおける協働も継続していただけるようお願いしたいと思います。

V.学生支援について

ほぼ、すべての項目で高評価の継続や評価の上昇がみられる状況であり、学生支援が行き届いていることが感じられます。中でも卒業生の支援体制は、かなり評価が上がっており、今後も継続して支援していただけることを期待しています。

VI. 学生の受け入れ募集について

インスタグラムの開設など、学生募集活動に力を入れていることが分かります。また、コロナ禍においてもオープンキャンパスの受け入れ人数を増やしたことも評価できると思われました。今後、18歳人口の減少や大学進学希望者の増加の中でも、引き続き、入学者の確保に尽力されることを期待しています。

公立西知多看護専門学校自己点検・自己評価の講評

評価者 医療法人資生会 八事病院
看護部長 津田末子

この度、公立西知多看護専門学校自己点検・自己評価に対する講評の機会をいただきましたので、その結果について報告します。

I.教育理念・教育目的・教育目標について

設置目的が明記され地域貢献の意図が理解されており、将来構想についても新カリキュラムの運用から高評価となり職員の意欲的な姿勢が感じられます。

教育理念は端的な表現に変更されたことで、教員が学生・保護者等に説明しやすく理解が深まったことが評価で現れています。

教育目的・目標は、ディプロマポリシー、コンピテンシーを学習要項に明示されており理解できますが、保護者への説明・周知等は今後に期待したいです。

II.学校運営について

運営方針および事業計画を検討されていますが、教員間で共通認識、意識付けで評価が下がり残念に思います。しかし、教職員の全員への周知については課題として上げられており期待が持てると感じました。地域社会におけるコンプライアンス体制は整えられ、倫理的な面を含めた組織としてのコンプライアンスも向上されており良いと思いました。ICTの活用は臨床でも求められており、業務の効率化は必須であると感じています。

III.教育活動について

教育活動においては、新カリキュラムの運用、新型コロナ禍の中で苦慮され、検討を繰り返し、実行されたことは高く評価されるのではないのでしょうか。個々の教員が授業後のアンケート調査をされ理解度、疑問点の確認をされ授業の改善に努められたことは、学生目線であり素晴らしいと思います。

卒業生のアンケートから、先生方の日頃の関りが手に取るように感じられ、看護師になることの難しさ、苦しさを乗り越えてきた学生の思いが伝わりました。看護師の臨床での定着率は相変わらずではありますが、離職しない臨床現場を作ることの責任の重大さも痛感しています。今後の公立西知多看護専門学校の益々のご発展をこころから祈念して、本報告書に対する意見をさせていただきました。